



南部小学校・新1年生 平成30年4月10日

〈3月定例会〉

- 予算概要 P2
- 表決、討論 P3
- 議案審議 (Q & A) P4
- 一般会計予算・重点事業とポイント . . . P6
- 一般質問 (4人が登壇) P8
- 総務文教常任委員会活動報告 P13
- 産業建設常任委員会活動報告 P16
- 追跡調査 P17
- ようこそみなべ町へ／お知らせ . . . P18

3月定例会

- 会期 3月6日から23日（18日間）
- 諮問 2件（人権擁護委員会候補者の推薦） 全て可決
- 同意 1件（副町長の選任） 賛成多数で同意
- 議案 24件 全て可決
（一般会計予算、各特別会計予算、条例改正等）
- 一般質問 4人 計4質問

平成30年度 会計予算

総額 **137億9870万円**
（前年度比 8億2981万円減）

- 一般会計 86億6900万円（1億8200万円減）
- 特別会計 48億6346万円（5億7109万円減）
 - 国民健康保険特別会計 19億824万円（5億6269万円減）
 - 後期高齢者医療特別会計 2億9686万円（1090万円増）
 - 介護保険特別会計 17億774万円（6931万円増）
 - 農業集落排水事業特別会計 2億3866万円（3008万円減）
 - 公共下水道事業特別会計 4億7737万円（34万円減）
 - 簡易水道事業特別会計 2億3456万円（1420万円減）
- 水道事業会計 2億6624万円（1億2071万円増）

●各議員の議案採決結果（反対のあった議案のみ） ○：賛成 ×：反対 棄：棄権 議長は採決には加わりません

議案	谷本 吉弘	永井 幸喜	天野 仁	井口 雅裕	丸山 幸雄	池田 三千留	原田 覚	出口 晴夫	真造 賢二	下村 勤	玉井 伸幸	宮崎 繁幸	北谷 清治	竹本 栄次
人権擁護委員の推薦（畑崎周定氏）	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
介護保険条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
一般会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
副町長の選任（吉本正二氏）	○	棄	×	○	×	○	○	×	○	○	×	×	○	—

討論 「同意1号 副町長の選任について」4人の議員が討論



討論とは、表決の直前に議案に対する自己の賛成または反対の意思を表明し、その理由を明確に述べながら賛否を論議するものです。その目的は、自己の意見に反対する議員および賛否の意思を決めていない議員を賛同させることにあります。

討論は一人一回のみ許されており、その順序は「反対」「賛成」と交互に行うのが原則です。

反対討論 出口 晴夫 議員

「外部から有識者を投入する事で思い切った政策をお願したい」ということで反対討論します。

行政のトップとして、対外的な活動等で忙しい町長にとっては、庁内の取りまとめの要となる副町長が大きな支えとなります。だからこそ、副町長の人選には、慎重に登用して頂きたいと思えます。そうした中で、県内外の他の市町村では「地方創生人材支援制度」を活用し、外部から副町長として採用し、大きな成果をあげています。

私は、みなべ町の将来を支える組織的な土台を築くためには、今が重要な時期だと思います。外部から有識者を投入する事で、外部の視点から私達が気付く事の出来ない課題・問題を発見出来るかもしれません。また、様々なしながらみがない判断が出来る事から、町長としても新たな角度から思い切った政策を実行できるのではないのでしょうか。

賛成討論 原田 覚 議員

小谷町長は事務方、吉本副町長は現場方で、バランス良くお互いに信頼し合いこれまで町行政を引っ張ってこられました。

吉本氏は教育次長の時代に各校舎の耐震問題に取り組み、特に岩代小学校の建替えの大事業にご尽力されました。現場視察をさせて頂いた時に、当時の大事業の担当責任者として、素晴らしい校舎を建てるという熱意と決意が伝わってきました。そういう経験があり知識も豊富な方が、今後の大事業のプロジェクトを進めるには必要であります。

町民の皆様からの要望には、丁寧に対応していただき、厳しい意見や要望に対しては、議会から当局から嫌われ役になりながらも公正中立に対応し、指導力を発揮されてきました。

経験と知識がある吉本氏は、町民から信頼ある人物でございますので、選任に賛成いたします。

反対討論 天野 仁 議員

反対討論をさせていただきたいと思えます。

今日の結果が一つの大きな節目で、みなべ町の将来を右に向かうのか、左に向かうのか大きな分岐点になるかと思えます。町政としても若者がこの町に残って生活が守っていける、家族が作れていけるような町づくりの検討も町長さんをトップに踏まえていってほしいという声はたくさん聞きます。

そんな中、1年間の予算、決算において副町長さんに答弁してもらいたい部分を、課長さんに答弁してもらったのが気の毒だなという思いがありました。

一般質問されてる中においても、後追いの状況の中においても本当に歯がゆい思いをしている議員さんもいるかと思えます。私もその1人です。

そういうことも含めて、ご期待に添えないという部分もあって、新たな人を提出いただければと思います。

賛成討論 真造 賢二 議員

吉本氏ご本人の名誉を守り、納得されていない町民や職員の皆様の気持ちを代弁したく賛成討論します。

氏はこの4年間、町長の補佐役、職員の良き相談役、指導役としてしっかり副町長の責務を全うされました。特にハード整備での数多くの功績は語り尽くせません。

反対理由は未だに明確にされていませんが、もし「町長に対する不当な越権行為」や「倫理に反した職員」があれば、厳正に対処するのが副町長の立場です。その対応に非難される点は一切なく、むしろ正当に職責を全うされたらと賞賛されるべきです。

議会は町民の代表です。その結論は、町民の皆様のご意志が反映され、多くの方が納得するものでなければなりません。それが議会制民主主義の根幹です。

皆さんの正しい1標を信じ、討論を終わります。

※各議員の討論は要約して掲載しています。

主な議案審議 Q&A

地域密着型サービス事業者等の事務委託

Q 田辺市に事務を移管することになるが、従来のサービス事業の内容は変わらないか。

A 従来の部分は変わりません。4月から新たに居宅介護の事務処理が各市町村の負担となるため、一カ所に集約し合理化を図るものです。

介護保険条例の改正

Q 高齢者の増加に伴う事業費増は仕方ない。しかし2割以上の増加は町民にとって非常に厳しいと思うが。

A サービスの要望を満たすためには、どうしても経費が高くなり、経費を減らせばサービスは低下し

ます。健康で長生きをしていただくためのサービスは維持・充実していきたいと、今回の金額となりました。ご理解をお願いします。

今後はこれを抑えるための予防に力を入れていきます。

ウミガメ保護条例

Q 条例内に教育活動とあるが、今までの取組み内容は。また、条例制定後の新たな取組みは。

A 今まで様々な立場で保護されてきました。その広報を通じて、ウミガメの大切さ、自然の豊かさをアピールしてきました。今後は学校教育の一環として現地へ行き、子供たちにウミガメの保護や状態、そうした貴重な生物がみなべ町に上がってくるという

ことをしっかり教育していきたい。



建設中の「千里ウミガメ館」

【一般会計】

環境衛生・印刷製本費 (1066万円)

Q ごみ焼却を田辺市に委託するにあたり、透明度の問題からもごみ袋を田辺市のものに統一できないのか。

A ごみ袋は従来どおりです。広域

でのごみ袋統一は現在のところ考えていません。

地域おこし協力隊 (221万円)

Q 昨年から1名の協力隊員が来て大活躍してくれています。今後更に採用を増やす考えは。

A 複数人のほうが、町が活性化するのではないかと考えており、増員を検討します。

鶴の湯温泉指定管理委託 (1350万円)

Q 3年前の約束では徐々に減額することになっていたはずだが。

A 薪ボイラーを導入し1年経過した結果、重油の値段が下がり、薪の方が高くなっています。薪を使用していたため、その差額を委託料に補てんしています。委託

料は、毎年協議して契約を結んでいきます。



薪ボイラー

漁業振興協議会補助 (50万円)

Q 新規スタートをするということですが、ご指導していただきたいが。

A 水産業の発展や漁業者の経営安定、向上を図ることを目的に、漁業の青年部や女性を含めて約20名程度の委員が参加する団体となっています。町としても初めてのことで手探りになりますが、県や関係団体と

密に連携しながら協議会の運営に携わってほしい。

梅レシピ開発委託料 (350万円)

Q レシピ本を何冊作って、どこへ置くのか。

A 5000部製作予定で、町内外に発信して消費拡大につなげたい。

梅の海外展開プロジェクト (500万円)

Q アメリカで行うプロモーションの内容と目的は。

A 現地での梅を使ったメニュー発表会にマスコミ、バイヤー、シェフ等に来ていただき、発信することによる地元業者と海外とのマッチングを考えています。

**世界農業遺産看板設置
(216万円)**

Q 看板はどこに設置するのか。

A 看板は4ヶ所に設置します。南

部駅、うめ振興館の他、世界農業遺産のモデル的な現地2ヶ所に設置する予定です。



既に設置された看板(岩代)

**南中テニスコート増設
(840万円)**

Q 増設予定地は、先生の駐車スペース

になっていないかと思

A 町民グラウンドのテニスコートの廃止に伴い、学校敷

地内でのクラブ活動を充実させるために計画しています。場所については学校側からの提案でもあり、了解していただいています。

Q この委員会とは。

**総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会
(187万円)**

A このクラブは、住民の皆さんが主体的に行うスポーツクラブをイメージしています。スポーツ関係団体、体育協会、健康推進員や社会福祉協議会等の皆さんにメンバーとして、立ち上げの検討、準備をしていただきます。

Q 温泉施設が休止になるとのこと

A 温泉施設が休止になるとのことだが、今後の対応は。南海トラフ地震の危険性を考え

**二子の里温泉施設使用料
(197万円)**

Q 毎年春と秋に合計15回程度体操の先生に来ていただき

A 実施しており、大体30名程度参加しています。広報誌やチラシも作成

し、広報活動をしていきます。

Q どういう事業なのか。

**ブロック塀等耐震対策事業
(100万円)**

A 地震発生等により倒壊し避難路を防ぐ恐れのあるブロック塀の撤去、改修の補助事業です。撤去の場合は上限20万円、撤去し改修する場合は上限40万円とします。



二子の里のお風呂場

**いきいき講座体操教室
(20万円)**

Q 素晴らしい教室とのこと、介護

A 予防の観点からも更なる広報で利用を促進しては。

Q 何台分の購入費か。また地元業者で購入できないか。

A 消防ポンプ車1台分です。車両だけでなく特殊なポンプが必要なので、取扱業者が県内に数社しかなく、町内業者では取り扱いが困難です。

**消防ポンプ車1台分
(300万円)**

Q 6ヶ所に設置すると聞くと聞くと聞くとどこか。

A 30年度は高城と清川に設置予定。清川公民館や、通勤・通学路で適当な場所があればと考えています。各区長さんと相談し決めていきたい。できるだけ早く、数多く設置をとの要望もありますので、町単独でも増やしたい。



A 商品券5000円分、コミュニケーションバスとタクシーで利用できる共通券300円分50枚をお贈りします。

**防犯カメラ設置
(300万円)**

Q 1戸の限度額60万円、総額300万円の募集予定だが(倉庫は限度額30万円)、要望が多くなる

A どうするのか。また不良空き家、倉庫等が補助対象にあたるかの調査費用や手続きの方法は。

**消防自動車購入費
(1750万円)**

Q 要望が多数の場合、補正等で対応も考えます。調査費用は発生しません。申し込みは所有者ですが、相続人や借家人の申請の場合は所有者の同意が必要になります。

**高齢者運転免許証自主返納
(45万円)**

Q 高齢者の方が免許を自主返納する

重点事業と注目ポイント

教育

- 学校司書賃金 ……………653 万円
- 南部中テニスコート増設工事 ……………840 万円
- トレイルラン大会実行委員会補助金 247 万円
- 総合型地域スポーツクラブ設立準備 187 万円



南部小学校図書館

ここがポイント

- 学校司書賃金は現在の小学校2名に加え、新に中学校に司書を1名増員するものです。
- 総合型スポーツクラブは、多世代がいろいろなスポーツに、それぞれの志向に合わせて参加でき、地域住民が自主的、主体的に運営するもの。設立目標は平成30年4月です。

総務

- 土地借上料（庁舎駐車場） ……………330 万円
- 地域活性化補助金 ……………60 万円
- 高城地区トイレ設計及び工事費 ……1650 万円
- コミュニティバス等運行委託料 ……1411 万円



建替える高城トイレ(高城公民館前)

ここがポイント

- 土地借上料は庁舎駐車場の借上契約が9月に満了になるため、半期分を計上しています。
- 高城地区トイレは公民館前の駐車場脇にあるトイレの老朽化が激しく、建て替えるものです。うめ振興館と清川球場の間の唯一のトイレとして存続が切望されていました。

保健・福祉

- 高齢者温泉入浴補助金 ……………365 万円
- 広域保育所運営委託料 ……………480 万円
- いきいき講座体操教室委託料 ……………20 万円
- 保健福祉センター前道路設計料 ……509 万円



保健福祉センター玄関

ここがポイント

- 広域保育所運営委託料は、町外の保育所へ入所した場合に受入自治体の運営費を負担するものです。
- 保健福祉センター前道路設計料は、玄関前で利用者の脇を通過する車両が非常に危険なため、噴水側に通過車両が迂回する道路を新設するための設計料です。

防災

- 防犯カメラ設置工事費 ……………300 万円
- 埴田医王寺避難道路調査測量設計料 1700 万円
- 町道小山田中線道路改良工事 ……7600 万円
- はず池改修工事 ……………3000 万円



はず池改修工事現場

ここがポイント

- 小山田中線改良工事は、東吉田の住宅街から防災広場につながる避難道路になります。池の埋め立てによる排水路の確保の役割も兼ねています。
- 埴田医王寺測量設計料は、多くの避難者が想定される医王寺への安全な避難路を整備するための費用です。将来的に防災広場につながる起点となる道路です。

平成30年度 一般会計

建設・土木

- 町道川久保線改良工事及び土地購入費 1600 万円
- 橋梁トンネル長寿命化調査設計委託料 5220 万円
- 町道みなべ新橋線測量設計委託料 1200 万円
- ハザードマップ作成委託 ……280 万円



拡幅される上南部こども園への進入路(川久保線)

ここがポイント

- 川久保線の改良は、上南部こども園への進入路を拡幅するもので、歩道を含む全幅が9.25m(車道は2車線6.5m幅)になります。
- みなべ新橋線測量設計委託料は、南部川から山内を横断する幹線道路になる予定の設計委託料です。

農林水産

- 清川集出荷場改築補助金 ……800 万円
- 梅レシピ開発支援委託料 ……350 万円
- みなべ梅対策協議会 ……755 万円
- 水産物供給基盤機能保全工事費 ……7020 万円



建替える清川集荷場

ここがポイント

- 梅レシピ開発支援委託料は、コンペで委託先を決定し料理研究家の考えた梅料理の本を5000冊町内外に配布するものです。
- みなべ梅対策協議会755万円には、県立医大への梅に関する美容と健康の研究開発委託料が含まれています。

商工・観光

- みなべ町商工会費 ……1750 万円
- 国民宿舎レストラン改修工事 ……2000 万円
- 鶴の湯温泉指定管理委託 ……1350 万円
- 教育旅行誘致事業 ……600 万円



改修される国民宿舎紀州路みなべレストラン

ここがポイント

- みなべ町商工会費には、プレミアム率20%の商品券「みなべとくとくお買い物券」4000枚発行の補助金が含まれています。
- 国民宿舎レストランの改修は、老朽化が目立つ床、壁、天井、窓を改修し、オーシャンビューを楽しむレストランとしてイメージを一新するものです。

生活・環境

- 一般廃棄物収集運搬委託料 ……8092 万円
- ごみ処理委託料 ……5762 万円
- 生ごみ処理機設置助成金 ……83 万円
- 火葬場定期修繕費 ……600 万円



田辺市ごみ焼却場

ここがポイント

- ゴミ処理委託料は、委託先が田辺市にお願いすることになり、3000万円の減となりました。特に燃えるゴミ、プラごみの分別が厳しくなりました。自前の焼却場を持ってないため、迷惑を掛けないように分別の徹底をお願いします。

4 議員が一般質問

宮崎 繁幸 議員

- ① これからの福祉について

谷本 吉弘 議員

- ① みなべ町にとって副町長は必要か

丸山 幸雄 議員

- ① 防災関連事業について

真造 賢二 議員

- ① 町独自の津波シミュレーションシステムの開発を

町政に
ここが聞ききたい!

QRコードで各議員の一般質問の動画を簡単にご覧いただけます。スマートフォンに「QRコード読み取りアプリ」をインストールして頂く必要があります。

一般質問とは、本議会において議員が行政全般にわたり、町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問したり、あるいは報告、説明を求めたりすることをいいます。





みやざきしげゆき
宮崎繁幸 議員



福祉 これからの福祉について

➔ 非常にいい制度 福祉を身近に考える。

町長 少子高齢も進んでいる。人口の30%が65歳以上、相対的に増えてきている。対策として国や県の財政的な

質問 みなべ町の福祉に対する取り組みを聞きたい。豊かに暮らせる町づくりを考え、施策を行っていると感じている。しかし3月議会では健康保険、介護保険の問題、県単位化にあたっての陳情書も出され、認知症高齢者見守りが必要な方の増加は、喫緊の課題と考えている。給付縮小や負担金増も懸念される中、住みよい町づくりに必要な事とは？答えは様々であるが日常の中で取り組みを考える事が重要であると思う。町全体で取り組む事が、福祉において本来の姿と思われる。町長としての考えを聞いてみたい。



支援を受け施策を行い関係機関と一体となり福祉問題に取り組んでいる。公助、自助、互助の連携において、より一層安心して暮らせる町づくりを取り組んで行きたい。

再質問 現在の福祉問題については十分とは言えないまでも、行政としての方向性は理解した。

ことができないか？月に一度決まった日に黄色のレシートを箱に入れるだけで、地域貢献の形になる。そう言った話の中、取り組みを考えた時、可能かどうか聞いた所、そういった話であるなら地域貢献にもつながるし、販売促進のためにもなると快い返事を頂いた。隣市と同様、みなべ町独自の「福祉の日」を制定されればレシートキャンペーンという形で協力させて貰うとの事。例として「15日は

町長 私自身も必要な事と考える。条例化においては、町民の皆様意識、啓発的な活動の盛り上がりが必要。「おにぎり条例」の時

「福祉の日」という条例案を考えてみたい。みなべ町には、大型量販店も営業されている。地元にも商工会やスタンプ組合もある。そういった話を進める上で、制定されれば地域一体となった福祉が考えられるのでは？そういった意味を含め行政としてのサポートをお願いしたい。

町長 非常にいい制度と思う。行政、議会と両方で福祉のため頑張っていきたい。

今回の「15日は福祉の日」もそういった形が必要。町民全体が末永く身近に考えられるよう制定されればと考える。

福祉を日々考える事については、自分も同じである。今回、条例化を進めていく上で、みなべ町には、商工会、スタンプ組合、商店街等の話し合いが必要な事と考える。

再々質問 形の上でこれからクリアしなければならぬ問題もある。始まったばかりの事で形も不透明。できる限りの努力を会長を通して話を進めたい。

たにもよひろ
谷本吉弘 議員



人事 みなべ町にとって副町長は必要か

⇒町長不在時の職務代理者として必要



質問 昨年の12月議会において、副町長の人事案件が否決をされました。この3月議会においても不在のままです。

小谷町長は副町長、町長の両方の役職を経験されてる方です。一般論としての副町長のあり方についてお尋ねします。

一点目、町長にとつて副町長とはどのような存在なのか。

二点目、行政におけ

る副町長の役割とは。この二点についてお答えください。

町長 今、みなべ町でやるうとして大型プロジェクト等においても、横断的に各課を取りまとめ、またスムーズな事業運営を図って行くためにもぜひとも必要であると考えています。

職員の人事管理の面においても健康管理も含めて、服務規程に

沿って人事管理に努めていただく部分が非常に大きい。

特に課長級職員の時間外勤務命令とか出張命令、休暇等の付与、課長級の人事評価の補佐的な立場として副町長の設置は必要であると考えている。

私自身、県内での各種団体の役職も増えていますし、県下市町村長の代表として全国の会議に出張する機会も増えています。

また、特産品のトップセールスとして土日も含めて町外への出張で留守がちな日々が多くなっています。町民の方々との話し合いの場も公務と重なる事が非常に多く、十分にご意見をお聞かせいただく時間的な余裕もなく、町民の皆様にはご迷惑をおかけしている部分があったと反省しています。

再質問 町長不在の場合が多いなかで、何か事があった時には副町長がトップとして行政を仕切るのは当然のことであり、必要性は私も十分に感じています。

ただ12月議会で否決をされました。否決をされるのには否決をされる理由があるんだろうと思います。この3月議会での可否はわかりませんが、否決になった場合はなおさらですが、可決になった場合においても過去の反省のもと、今後町議会との修復を図っていただきたい。

町行政、議会、町民というのとは三角形の関係であり、一辺が崩れればもちません。

三点がスクラムを組んで、目的は町民の幸せですから、そこを十分に踏まえていただいて、町長にも十分に努力をしていただきたい。

町長 いざ災害のときに、現地災害本部長としての役割をになつていただく部分が大きいと思います。

私が出張中に地震が起きた場合どうするかという部分。

みなべ町防災会議条例において、職務代理者として教育長に担っていたのですが、正常な形に修復できればと考えています。

12月議会以降、この3ヶ月間の間に町民の皆様からご意見をいただく中で私自身も含めて非常に反省しなければならぬ部分、多々あったかと思えます。

町民の幸せは町と議会と町民、三者スクラムを組んで町づくりを取り組んでいくべきであらうかと思えます。

今後はそれに向けて反省を込めて取り組んでまいりたいと考えています。





まる やま ゆき お
丸山幸雄 議員



防災 防災関連事業について

➔ 防災広場までの避難道路を早急に進めたい

質問 昨年12月末において気佐藤地区に津波避難センターが完成し、また東吉田地区では防災拠点関連施設の進入路工事が進められています。先般、国の補正予算による補助金が認められたことで予算の着実な進捗が図られることと思いますが、30年以降はため池の埋め立てや子ども園の敷地造成など多額の予算が必要だと思うが、全体事業費及び全体構想、予算執行に関しての年次計画についてお伺いしたい。

子供や高齢者、障害のある方が安心して津波から逃げるために整備しなければならぬ避難路が必要だと思われまます。埴田医王寺において避難路の予算が当初の予算に組まれたことはいいが一時的に避難すればいいという執行部のお考えですが、



低い河川堤防

救援物資、トイレの完備など、二、三日滞在中の設備の考えはないのか。また河川において、津波による湖上についても執行部の方からは何の指令もない、川はいつも水が流れているとの返事。

平成23年の秋、紀伊半島大水害が発生し、清川地帯も山腹が崩壊し、清川地区が孤立状態となり、1人の生命が犠牲となりました。津波のことに気をとらわれがちですが、山間部の地域について山津波、ため池の崩壊、そのような危険について町長の考えをお聞きしたい。

度から31年度までの4年間。それから、埴田医王寺への避難路計画につきましては、避難路の必要性は感じています。町の防災計画では、一時避難場所は数時間から数十時間とどまる場所と想定しています。非常食や簡易トイレ等の配備は必要と考えています。医王寺での二次避難所の建設は今のところ想定していませんが、東吉田の防災広場までの道路の整備は考えてまいりたいと考えています。

山間部の防災対策、土砂災害対策については、補助事業を活用し進めています。

再質問 河川の津波による湖上についての答弁がなかったと思います。

防災拠点に毛布、食料などの備蓄倉庫、マシンのホールトイレ、要支援者の駐車場、消防車などの緊急車両駐車場、防火用水、蓄電池の避難灯、誘導灯など、このような設備が計画されているのかお聞きしたい。

ため池のハザードマップ、晩稲のため池の改修工事は当初予算で組まれているので計画されていると思いますがお聞きしたい。

町長 河川の湖上については、東岩代の河川の拡幅工事をしていただいています。片山地

町長 防災関連事業のプロセスを作っていく。医王寺から防災広場までの避難道路を早急に進めたい。やり過ぎという部分はない。理解していただけるプロセスに努めてまいりたい。

再々質問 町民に安心を与えるためにプロセスは大事だと思う。

総務課長 防災広場の計画は、全体的には煮詰まっていない。

産業課長 43のため池は、ハザードマップを作成している。

しんぞうけんじ 議員
真造賢二

防災 町独自の津波シミュレーションシステムの開発を

➔ 地図情報システム会社との共同開発を検討



質問 町では津波避難タワーの完成、小山市防犯広場の着工と様々なハード的な防災対策が進行中です。実際に命を守るという点では非常に大事なことです。が、自然の力に対し限界があるのも事実です。それらを補完し、より安全で完全なモノにするためにもソフト的な対策、対応が重要。防災の観点から津波ハザードマップでは大雑把過ぎ。更に具体的な示唆を得るために、ソフト上で建物、道路、線路、橋、河川、堤防、島などの精密な3Dモデルを作成し、CGによるリアルな検証を提案します。

準備をする」ことが重要です。また、このモデルを活用してスマホ対応の避難アプリ（GPS機能と連動）の開発や立体モデルの制作も可能。東日本大地震は大きな被害と同時に多くの貴重な教訓も授けてくれました。私たちは、その教訓を活かし切る義務があるはず。全国的な先駆者になる気概で町独自のCGによるシミュレーションシステムの実現に向け取組んで頂きたい。

町長 3D CGは、映像で視覚に訴えることができ、更なる防災意識づけにつながると思います。県では沿岸地域の3D CGを作成しており、ホームページで閲覧可能です。精密なものではありませんが、町民の皆さまに避難意識を改めて認識して頂けるのでは。また和太・災害科学研究センターでは、3連動地震による津波を想定したCGを作成しています。臨場感のある動画で、リアルに津波の恐ろしさを感じる事ができます。県下で精密な3D CGを作成している市町村はないとのこと。精度を上げるためには、住宅の強度や道路等、詳細な情報を入力する必要があります。多大な時間と費用が必要。また漂流物等の反映も困難で、実際の被災の様子を再現できないのでは。

再質問 県が作成したCGは、ハザードマップと同レベルで詳細な検証とは遠い内容です。被害に遭われた東北では莫大な費用を掛け、様々な検証が行われています。それも大事ですが、事前の検証にも予算が投入されるべきでは。ただ精密に作りこめば、多大な費用が掛かることは理解します。まずは、ある程度の予算で地形や主要な建物等の基本的なデータを忠実に再現しては。県のCGより現実的な検証ができ有意義では。

町長 必要性は議員と同様に感じています。県のCGよりもリアルなものをとというご提案ですが、どこまで盛り込むかで費用が大きく変わります。町民の方々の視覚に訴えるという効果が得られるなら有意義と考えます。他市町に先駆けてやってみたいとの気持ちと同じ、予算の許す範囲内で頑張ってみよう。



みなべ町 津波シミュレーション動画 (県 HP)



和歌山市街3D津波CG(和太・災害研究センター)

総務文教常任委員会 活動報告

3月20日、27日に「二子の里」の運営について調査を行いました。

「二子の里」調査

3月20日、27日に「二子の里 老人憩いの家」の調査を行いました。

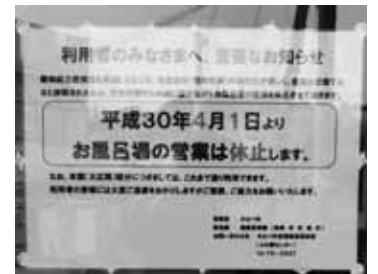
老人憩いの家は昭和49年に建てられた福祉施設です。以前から海岸に近く津波の危険性が指摘されていて、老朽化も激しく、閉鎖に向けた方向で話が進んできました。

昨年度、建物の耐力調査が実施され、大きな地震に耐えられない、公共の建物としては不適切な数値が出されました。

その結果3月1日に、4月1日からのお風呂の休止が決まりました。



腐食した基礎部 (耐力調査)



お風呂場営業休止の張り紙

お風呂場の危険度が高いため、憩いの家そのものは存続させるものの、入浴は国民宿舎か鶴の湯でお願いしやすとの張り紙が貼られました。利用者皆さんからは、お風呂場が休止になれば憩いの家に集まることなく、利用者減を理由に休館取り壊しになるのではないかと不安の声が多く寄せられました。

3月20日に担当課長から説明を聞いた後、憩いの家で約40名の利用者が集まる中、次のような多くの意見をお聞きしました。



町民の方々とのお話の様子

- ・風呂がなくなれば、利用する人がいなくなる
- ・お風呂で話をする機会が多く、国民宿舎ではくつろぐ場所がない
- ・一人暮らしの人の利用者が多く、健康維持のために必要
- ・4月からのお風呂の使用中止を伸ばしてほしい
- ・今後このような施設が欲しい
- ・代替施設を前向きに検討中とのことだが、出来るまでの間、補修工事で延命を図れないか

3月27日の委員会において、町長、担当課長との話し合いで、**代替施設を前向きに考えること**、**憩いの家のお風呂場の延命措置を検討する**との答えを頂きました。

その後、4月13日に委員会として町民有志の方々が町長へ要望書を提出される場に同席しました。

代表者から要望の趣旨説明の後、要望書と署名(916名分)が町長に手渡されました。町長からは、健康に対する温泉効果が科学的に立証されていることもあり、介護予防を



要望書提出の場面



「二子の里 老人憩いの家」玄関

目的に温泉を前提とした施設を安全な場所に新築したい。当面は風呂場基礎の補強・延命を図り、利用して頂きたいとの明言を頂きました。

また、担当課長から、5月議会で補強工事の補正予算(約500万円)をお願いし、早く10月から利用を再開して頂ける予定、との説明がありました。お風呂場は補強工事が完了すれば利用できます、少しの間お待ちください。また将来的には、安全な場所へ代替え施設が建設される予定です。

総務文教常任委員会 活動報告

2月20日に防災に関する現地調査(町内4カ所)を行いました。

防災に関する重要箇所を現地調査

みなべ町は、津波や土砂災害さらには洪水等、様々な災害の危険性があり、そのための対策が急務となっております。総務文教常任委員会では、従来より町の防災対策についてチェックを行い、安心・安全な町づくりを寄与するよう活動しています。

昨年末から2度にわたって総務課防災担当と町の防災対策の考え方や現状について意見交換を行いました。今回はこれらを踏まえて、実情を確認するべく2月20日に町内4カ所で現地調査を行いました。

①島ノ瀬ダム上流の土砂堆積状況

島ノ瀬ダムは平成3年に完成し、みなべ町(田辺市)にかけて梅や柑橘の樹園地1550



南紀用水管理事務所にて

ha、水田240haに灌漑用水を送ってきました。ダムの脇にある南紀用水管理事務所職員から説明を受け、続いてダムの上流における堆積の状況を視察しました。

全国すべてのダムと同様、上流からの土砂の堆積は避けられません。しかし、とりわけ島ノ瀬ダムでは平成23年の紀伊半島大水害で大量の土砂が流入してきており、これ以降も急

速に土砂の量が増してきています。したがって、これらを取り除くことが課題となっております。



土砂が堆積して川ようになったダム上流

なお島ノ瀬ダムでは、ダム本体を埋めるようにダム湖の底に土砂が堆積しているわけではなく、本体から2〜3kmにわたっての上流の川底に浅く広く積もっています。これは、川が非常に蛇行しており、しかも流れが緩やかであるためです。

計画では、平成35年ころから国・県の補助並びに地元負担により毎年3700m³の土砂の除去を開始すること

この工事では、①法面(のりめん)を保護・補強するとともに、②これが崩れた際でも土砂を受け止める法止め(のりどめ)の壁を設

ける二重の対策をとっています。こうした工事は、30年度中に町内で3件を予定しています。しかし、町内にはこれ以外にも対策を要する箇所はたいへんな数にのぼります。今後とも取り組んでいかねばなりません。

なお、この工事には国・県あわせて95.97.5%の補助金が交付されることになっています。



急傾斜地崩壊対策施工現場(国補助事業 清川・大川地区)

③ 埴田・医王寺への新避難路計画地点

埴田・医王寺は、埴田・片町区の背後にある高台です。ここには大地震の際、埴田、片町区の住民はもとより南部小・中学校の子どもたちおよそ600人も避難する場所となっています。ただ、ここへの道が崖沿いで、しかも非常に狭いため改修を望む多くの声が寄せられてきました。これを受け、町では、新たな避難路を設けるため平成30年度予算に調査費用を計上しました。

この日は、J R線路に平行する堺方面への農免道路で新たな避難路の起点となる付近を視察しました。この避難路は、やがて小山田防災広場へとつながることとされており、今後の町づくりにも影響するものと思われます。委員会としてしっかりと見守っていきたいと考えます。



埴田・医王寺への新避難路起点付近

④ 小山田池防災広場の建設現場

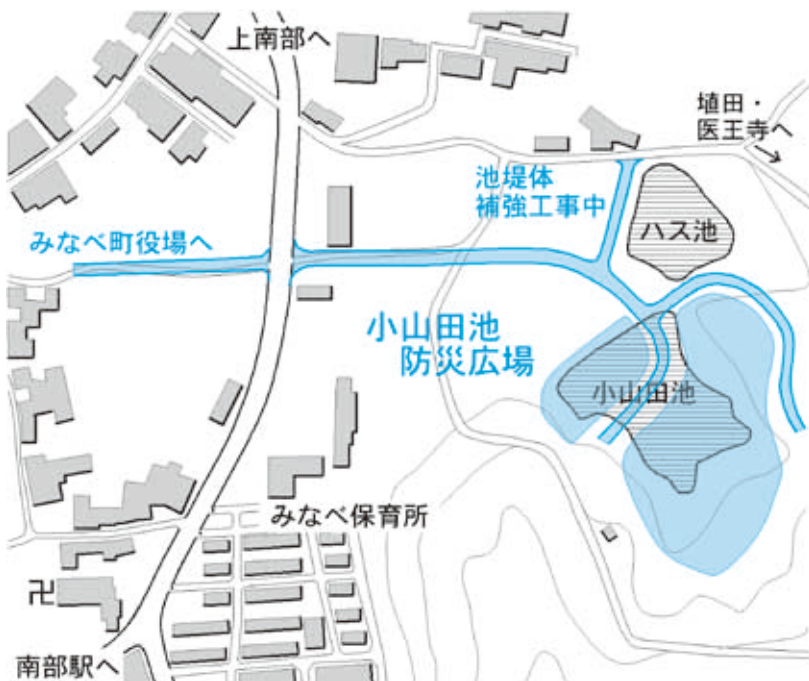
防災広場は、小山田池を埋め立ててここに津波避難の一大拠点として設けられるものです。最大で3000人近くの人々が避難すると想定のもと、建設が進められています。小山田池がなくなることに伴って新たな水利を確保する必要があります。現在、隣接するハス池の貯水を確認するための堤体（土手）の補強工事にとりかかっています。

委員会では、この日、県道中芳養南部線から小山田池に向かう取付道路等を視察しました。小山田池防災広場は、20数億円の大事業で、平成32年頃の完成をめざしています。

しかし、まだ構想や計画も明確ではありません。今年度に設けられた防災企画室（※1）が取り進むこととなります。今後この事業がどのように進んでいくか議会として町の動向に注視していきたいと考えます。



ハス池堤体（土手）工事現場



計画概要（青色表示が造成される防災広場や道路）

※1 防災企画室の設置

平成30年度より総務課の中に防災企画室が設けられ、総務課業務の兼務も含めて6名の職員が配置されました。言うまでもありませんが、防災対策は「待ったなし」です。大幅な人員増により防災対策が今後一層素早く、また内容面でも充実されるよう大いに期待されます。

総務文教常任委員会では、企画室が成果を出せるよう側面からエールを送る一方、その業務をしっかりと見つめていきたいと思っております。

産業建設常任委員会 活動報告

2月21日に道路改良工事の進捗状況等に関する現地調査をおこないました。



町道名之内線（清川）

町道改良工事進捗
改良工事を行っている町道4路線と土砂の仮置き場を、建設課の説明を受けながら現地を確認をしました。

東岩代地区の**町道浜線**の改良工事は、31年度に幅員5m全ての道路舗装も済ませて完了予定とのこと。現在の町道浜線と国道42号線の交差点周辺の2カ所に2基の信号がありますが、この道路の完成によって十字路の交差点になり信号機も1基になるようです。



町道高野沼側線（高城トンネル）

町道高野沼川線（高城トンネル）は、現在の道路より約80m長くなり全長226m。2車線の道路で、歩道は幅員2mとなります。土砂は坂ヶ谷の埋め込みに利用します。

内線は、現在車同士がすれ違うことが困難な状況ですが拡幅工事を行い、川の護岸整備を行い幅員5mにします。急カーブになる箇所はその手前から山をオーブンカットにして緩やかなカーブの道路にします。また、山を切り取った土砂は、盛土箇所に活用するとのことです。



町道滝線（高城）

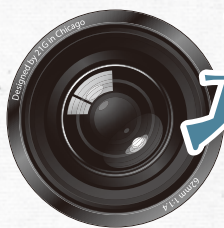
町道滝線は、改良計画延長、全長800m。幅員は7m（歩道無し）です。以前に山を切つて施工した法面に亀裂が入り崩壊の恐れがあり、早急な対応を申し入れました。

請願の審議

「**堺地区森の鼻、キャンプ・バーベキュー禁止条例制定を求める請願書**」が議会へ提出され、その審議が委員会へ付託されました。5月議会までの継続審議としています。

事務組合議会議員活動報告

- 公立紀南病院組合事業会 第4回定例会**
 - ・日時 平成29年12月26日
 - ・場所 紀南病院
 - ・出席 竹本議長、北谷副議長
- 田辺周辺広域市町村圏組合議会 第1回定例会**
 - ・日時 平成30年2月13日
 - ・場所 田辺市役所
 - ・出席 竹本議長、北谷副議長
- 和歌山県後期高齢者医療広域連合議会 定例会**
 - ・日時 平成30年2月16日
 - ・場所 ダイワロイネットホテル和歌山
 - ・出席 竹本議長
- 田辺市周辺衛生施設組合議会 第1回定例会**
 - ・日時 平成30年2月19日
 - ・場所 田辺市 清浄館
 - ・出席 原田議員、下村議員、天野議員
- 紀南環境広域施設組合議会 定例会**
 - ・日時 平成30年2月22日
 - ・場所 田辺市ゴミ処理場
 - ・出席 竹本議長、北谷副議長
- 公立紀南病院組合議会定例会**
 - ・日時 平成30年2月26日
 - ・場所 紀南病院
 - ・出席 竹本議長、北谷副議長
- 日高広域消防事務組合議会 第1回定例会**
 - ・日時 平成30年3月2日
 - ・場所 日高広域消防本部
 - ・出席 真造議員
- 御坊日高老人福祉施設事務組合議会 第1回定例会**
 - ・日時 平成30年3月2日
 - ・場所 御坊日高老人福祉施設事務組合
 - ・出席 谷本議員



追跡調査 議員の質問とその後の行方

あなとき、議員が一般質問した内容や各委員会が提言した内容が、町施策にどのような内容で反映したかを確認するための調査です。

平成27年9月定例会 一般質問

清川中学跡地利用の推進を

町長答弁

跡地利用の検討委員会で協議を続けていただく予定

どうなった

総務課

地元検討委員会や町の委員会で検討されましたが、建物の存続活用や撤去など多くのご意見があり、結論には至りませんでした。委員会はいずれも解散されています。

現在は、地域おこし協力隊員からの「活用に向けて実際に実践をして、試行錯誤を繰り返して活用案を収集しよう」という提案を受け、活用プランの収集など利用の可能性を検討しているところです。

平成27年12月定例会 一般質問

南紀熊野ジオパークへの参入は

町長答弁

南紀熊野ジオパークへの編入に向けて研究に取り組んでいきたい。

どうなった

産業課

町内には編入の対象となる特殊な地形や地層等が少ないため見送っていますが、歴史、文化、動植物の保護活動等は国立公園事業等で取り組んでいます。

下村勤議員が
自治功労者表彰

下村勤議員は、多年に渡り地域の振興発展に寄与した功績が認められ、全国町村議会議長会から自治功労者表彰(15年以上在職)を受けられました。

定例会の開会に先立ち、その伝達式が行われました。



●議会や議会だよりへの意見や感想を募集しています。どんなことでもかまいません、議会事務局または提案箱までお寄せください。

みなべ町議会だより No.51
平成30年5月1日発行
発行 みなべ町議会
編集 議会広報特別委員会
〒645-0002
和歌山県日高郡みなべ町芝742
TEL 0739-72-1334
FAX 0739-72-1335

ようこそみなべ町へ

他市町出身のご主人、奥様、ご夫婦の紹介コーナーです



しもかわ よしや はるか
下川 吉哉さん & 春香さんご夫妻

平成23年11月22日に結婚されました下川吉哉さん(みなべ町高野)と春香さん(上富田町朝来 旧姓:川辺)ご夫婦の紹介です。

Q 二人はどんなきっかけで知り合いましたか？

→共通のお友達の紹介

(以下質問へは町外出身の方にお答え頂きました)

Q みなべ町に暮らしてみて感じたことや持たれたイメージは？

→皆さんが温かく、気さくに声を掛けてくれたり、治安がとてよ、住みやすい町だと感じました。

Q 町での生活はどうですか？

(楽しいエピソードもあつたらお聞かせください)

→子供たちが自然に触れ合い、のびのびと楽しく子育てできています。また、18才未満の子供は医療費が無料だったり、とても助かっています。

Q 町に望むことはありますか？

→家の近くに小児科が増えたら嬉しく思います。

☆ご協力ありがとうございました。

編集後記

新年度がスタートし、3月議会を通過した様々な予算が、着実に町の発展につながっていくものと期待が膨らみます。さて、行政に対して「○○してくれない」というような愚痴を聞くことがよくあります。しかし愚痴ばかりでは何も解決しません。

「行政には愚痴ではなく提案を」地域の実状を知っているのは地域に住む皆さんです。その実状を踏まえ、しっかりと提案する、町と一緒に考える。ということが、より良い予算の使い方に繋がるはずで、町の予算は、町民一人一人、すなわち、あなたの予算なのです。

皆さんの知恵を結集して、共により良い町を築きましょう。議会はそのような住民自治を実現するための存在でありたいと思います。

広報特別委員会
委員長 真造賢一